





SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和2年2月28日

事業所・団体としての2030年の（または中長期的な）あるべき姿		
SDGsを全校児童が意識して、全世界の皆が幸せになれるように、マレーシアの子どもたちと協力し、自分たちができる活動を自主的にこなしている。		
事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動		
子どもたちだけでなく地域や家庭もSDGsの意義を理解し、ともに活動を行っていけるようにしていく。		
各目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	来年度の取組目標
	エコキャップ活動の意義を知らせ、エコキャップの回収を呼びかけた。40Lの袋14個分のエコキャップを回収した。	より多くのエコキャップを回収したり、より多くの人に参加してもらえるように呼びかけを行っていく。エコキャップ回収参加率80%をめざす。
	水の節約について、全校での意識付けは行うことができなかった。	川や海的环境につながるという意義を知らせながら、水の節約、下水を浄化するために必要なコストや水の量を伝えていくことで、水を大切にしている気持ちを持つようにする。水を大切にしている意識をもっている児童が80%以上をめざす。
	各学級、食品ロスが減る様声かけを行ったが、強制的に食べさせることができないので、全校の取り組みにはなっていない。	食品ロスを減らす意義を知らせながら、食品ロスを減らすために、食べられる量を配膳したり、残食が出そうな場合には、一人一口運動を奨励する。
	友人の思いやりある行動を掲示して伝え合う「思いやりの木」をエントランスに掲示して、子ども同士感謝の気持ちを伝える活動と呼び掛けてきた。代表委員会で学級で感謝の気持ちを伝える活動を紹介したところ、各学級でも感謝の気持ちを伝え合う姿が見られた。	より多くの「思いやりの木」を咲かせるために、感謝の気持ちを伝える活動を増やしていく。学級での活動も奨励していく。また、「思いやりの木」の活動をSDGsの様々な取り組みに発展させる。
その他	明るく気持ちの良いあいさつができるように、「大きな声であいさつ」「自分からあいさつ」「相手の目を見てあいさつ」をステップごとに区切って全校で取り組んだ。あいさつをし合うことで子ども同士のつながりが深くなった。	より明るく気持ちの良い「あいさつ」ができるように、目標を決めて全校で取り組んでいく。

（記載上の注意）

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。

事業所・団体名称	静岡市立葵小学校 (本社が届け出る場合はその事業所の数)	
業種	1 1. 教育、学習支援業	
代表者 職・氏名	職名	校長
	氏名	川島 広己
所在地	〒420-0854 静岡県静岡市葵区城内町7番9号	
URL	https://aoi-e.shizuoka.ednet.jp/	
従業員（構成員）数	男性 341人	女性 299人 計 640人